

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S31	施策名	交通弱者の移動支援(障がい者タクシー料金助成金(タクシーチケット)等)の見直し
担当部課	福祉部福祉課	関係部課	長寿課、企画政策課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち
	行政改革指針・重点課題	2 財政改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 地域公共交通網形成計画、ながふく障がい者プラン、長久手市障がい者タクシー料金助成事業実施要綱
施策開始の背景、経緯等	既存の公共交通に乗りえない交通弱者の移動手段として、Nタクの実証実験が行われたが、事業化には至らなかった。引き続き、移動手段の確保策を検討する必要がある。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 公共交通及び移動に関する既存の施策(障がい者タクシー助成事業)の実施状況等を踏まえ、既存事業の見直し及び交通弱者の移動手段の確保に向けた検討を行う。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 高齢者、障がい者等の移動困難者
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 費用負担の適正化を図りつつ、交通弱者の外出に対する不安や困難さを軽減し、必要な移動ができるようにする。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	障がい者タクシー料金助成の見直し				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		令和2年度の利用状況等の分析を行う。 ・事業対象者に対しアンケート調査を実施した。	・令和3年度の利用状況等の分析を行う。 ・利用状況及びアンケート結果を踏まえた見直し方針を決定する。	・方針に基づき施策を実施する。 ・利用状況を継続的に把握する。	・方針に基づき施策を実施する。 ・利用状況を継続的に把握する。	・方針に基づき施策を実施する。 ・利用状況を継続的に把握する。
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		タクシー料金助成 3,097,890円	タクシー料金助成 3,500,000円	タクシー料金助成 3,675,000円	タクシー料金助成 3,858,000円	タクシー料金助成 4,051,000円
		印刷製本費 104,500円	印刷製本費 110,000円	印刷製本費 110,000円	印刷製本費 110,000円	印刷製本費 110,000円
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 559 人	(延べ) ー 人	(延べ) ー 人	(延べ) ー 人	(延べ) ー 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	高齢者等移動支援事業				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		要介護者を対象とした目的地での行動支援をセットにした移動支援のニーズを把握するため、アンケート調査を実施した。調査の結果、事業を実施しないこととした。				
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 780 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) タクシーチケットの利用状況を、年齢や障がい別で集計する等した結果、見直しのポイントを整理することができた。また、アンケート調査を実施し、チケット交付者及び未交付者の移動等に関する実態を把握し、障がい者自立支援協議会及び福祉有償連送運営協議会で結果を共有した。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 必要な人が必要なときに使いやすい制度となるよう改善を行う。
------	--------	--

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 制度の改善項目として、助成金額、利用方法などの運用、対象者などがあり、どこに的を当てて改善していくかが今後の検討課題である。 ・アンケート調査の結果、介護付きタクシー助成事業を実施しても外出の大幅な促進にはつながらず、かつ既存の制度と棲み分けできない可能性が考えられるため、事業は実施しない。
----	-------	--

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) タクシー助成事業について、障がいのある人の増加に伴う経費の増加は一定見込んでいるが、必要な人が必要なときに使うことができるように見直しを行い、予算規模を大幅に拡大することは想定していない。
-------	------------------	---

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) ・交通弱者の移動支援策について、施策対象者が重複することがないよう、各施策のターゲット等を明確にするほか、公共交通ネットワーク調査研究会において、公共交通との役割分担等について検討を行う。 ・アンケートの詳細分析を進め、夏頃までに方針決定し、必要に応じて令和5年度予算へ反映させる。 ・高齢者の移動支援事業として、既存の事業である福祉有償連送の拡充や市民主体の取組が提案されるよう働きかける。
----	------------	--

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	市独自の施策について、事業の必要性の再確認や、負担割合の見直し等について研究検討してください。
------	--------------------	---

内部意見への回答	
----------	--